

## ②東北中央自動車道（福島～米沢）

**キーワード** 広域道路ネットワーク形成、リダンダンシー、多事業連携

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

東北中央自動車道福島～米沢間の整備事業。自動車専用道路として高規格幹線道路ネットワークを形成するとともに、災害時における代替路線の確保、交通障害の解消を図る。

並行する国道13号の最高標高より190m低い位置を通過する延長8,972mのトンネルを施工し、「雪に強く信頼性の高い高速道路」とした点が評価された。

### 1. はじめに

東北中央自動車道は、福島県相馬市から山形県内を経由し、秋田県横手市間を結ぶ総延長約268kmの高規格幹線道路（自動車専用道路）であり、南東北における高規格幹線道路網を形成し、地域間交流や緊急時の代替路としての機能を担う路線である。

今回の事業は、その一部区間として平成29年11月4日に開通した。

また、この事業により、山形県と福島県が高規格幹線道路で結ばれた。

### 2. 事業の概要

福島山形両県を跨がる国道13号栗子峠は、降雪量が多く、急勾配や急カーブ箇所が存在することから、冬期において大型車両等の立ち往生が多数発生している。また、降雨による事前通行規制区間に指定されており、大雨や風雪により例年通行止めを余儀なくされている。

今回の事業は、これらを解消することを目的に整備した延長37kmの自動車専用道路であり、特に福島山形両県境に設置した栗子トンネルは「雪に強く信頼の高い高



栗子トンネル山形側坑口

**受賞機関** 国土交通省 東北地方整備局  
福島河川国道事務所、山形河川国道事務所  
福島県、山形県  
東日本高速道路株式会社東北支社

速道路」とするため、並行する国道13号の最高標高より190m低い位置を通過する延長8,972mのトンネル（避難坑を併設）を施工し、冬期の安全確保に寄与している。

なお、この栗子トンネルは栗子峠で第四世代として整備した。

### 3. 事業の成果

今回の事業により、以下の効果が期待される。

- 降雨期や冬期の通行止めリスクが回避され、災害に強い安全・安心な通行を確保。
- 福島・山形両県を含めた新たな広域観光ルートの形成が可能となり、観光客の増加や交流拡大の相乗効果に期待。
- 福島市・米沢市両地域の物流効率化により、さらなる技術連携や交流の活性化に期待。また、企業誘致や産業活性化を支援。



開通後の交通状況

### 4. おわりに

今回の開通により、福島山形両県に跨がる栗子峠の安全・安心な通行が確保され、両県の発展に大きく貢献するものと期待される。

最後に、本事業の建設にあたり、地権者及び工事関係者の皆様方には、この場をお借りして、改めて心より敬意を表したい。

**賛助会員** オリエンタル白石(株)、大林道路(株)東北支店、セントラルコンサルタント(株)、大日本コンサルタント(株)、(株)長大、飛鳥建設(株)、日本鉄塔工業(株)、日本ファブテック(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、三井住友建設(株)